

特認校 富沢小と家庭・地域をつなぐ学校だより



みらい

旭川市立富沢小学校 No. 8 平成 26年9月20日 発行

学校教育目標
夢をもち未来を拓く子ども

【目指す児童の姿】
かしこい子 (知)
あかるい子 (徳)
ねばり強い子 (徳)
たくましい子 (体)

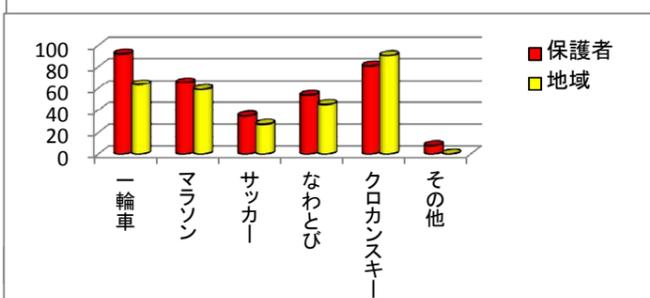
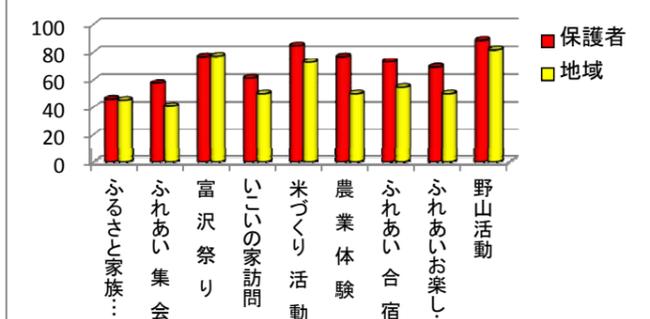
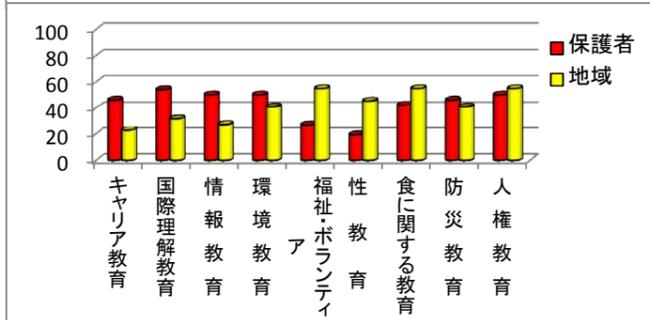
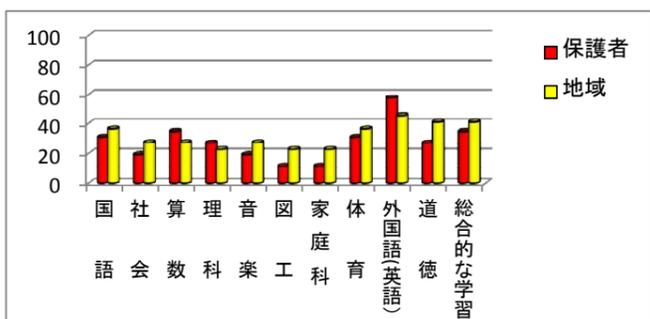
【実践の合い言葉】
きたえ ふれあう 富沢っ子

「富沢の特色ある教育」に関する保護者・地域アンケート結果

『新学習指導要領』が2016(H28)年度改定、2020(H32)年度全面実施されます。道徳の教科化、3・4年生からの外国語活動の導入、5・6年生の外国語活動時数の増加などの改訂に伴い、各学校では、新学習指導要領の先行実施や教育課程の改善が求められることとなります。本校においても、新学習指導要領改定の趣旨を踏まえ、数年かけて緩やかな教育内容の改善・充実を図るため、これまで継続されてきた伝統ある「富沢の特色ある教育活動」についても見直しを行いながら、富沢小学校の新しい教育の創造に着手し始めるための基礎資料として、アンケートの結果を公表します。

◆「必要」と答えた人数と割合		人数		割合%	
		保護者	地域	保護者	地域
1 重点的に指導することが必要だと思う教科・領域	国語	8	8	31	36
	社会	5	6	19	27
	算数	9	6	35	27
	理科	7	5	27	23
	音楽	5	6	19	27
	図工	3	5	12	23
	家庭科	3	5	12	23
	体育	8	8	31	36
	外国語(英語)	15	10	58	45
	道徳	7	9	27	41
	総合的な学習	9	9	35	41
	2 子どもたちの将来のために特に必要だと思う教育分野	キャリア教育	12	5	46
国際理解教育		14	7	54	32
情報教育		13	6	50	27
環境教育		13	9	50	41
福祉・ボランティア		7	12	27	55
性教育		5	10	19	45
食に関する教育		11	12	42	55
防災教育		12	9	46	41
人権教育		13	12	50	55
その他					
3 体験活動・地域とのふれあいを通して心を育てるために必要と思う活動	ふるさと家族制度	12	10	46	45
	ふれあい集会	15	9	58	41
	富沢祭り	20	17	77	77
	いこいの家訪問	16	11	62	50
	米づくり活動	22	16	85	73
	農業体験	20	11	77	50
	ふれあい合宿	19	12	73	55
	ふれあいお楽しみ会	18	11	69	50
	野山活動	23	18	88	82
	その他				
4 体力向上のために今後も継続することが必要だと思う種目	一輪車	24	14	92	64
	マラソン	17	13	65	59
	サッカー	9	6	35	27
	なわとび	14	10	54	45
	クロカンスキー	21	20	81	91
	その他	2	0	8	0
	その他				

上位項目



5 結果分析

- 教科・領域の重点化に関しては、保護者・地域ともに「外国語」「総合的な学習」に対する要望が高い。
- 分野別では保護者は「国際理解」「情報」「環境」「人権」、地域は「福祉」「食育」「人権」に対する要望が高い。
- 特色ある教育活動「ふるさと学習」に関しては、保護者・地域ともに「野山活動」「米づくり」「富沢祭り」に対する要望が多く割合的にも非常に高い。
- 「富沢タイム」の取組に関しても、保護者・地域ともに「一輪車」「クロカン」「マラソン」とねばり強さを要求される種目に対する要望が非常に高い。
- ①保護者・地域からの意見では、何とか工夫しながら従来の活動の継続を求める意見が多い。
②「ふるさと家族制度」や「中学校との接続」に関する改善要望がある。
③「富沢タイム」の一層の充実を求める声がある。

6 その他、富沢小の特色ある教育活動についてのご意見・ご感想

保護者からの意見

- 富沢の自然や人々とのふれあいはとても大切だと思います。親も子どもとも楽しく学習させていただき、満足しています。
- 少人数教育ということで、きめ細かく指導していただき感謝しております。しかし、中学生になった時、大きな集団に対して、どう順応していけばよいのかという不安もある。その心構えなど子どもたちに指導していただけるとありがたいです。
- 今まで続けていたことをやめるのは富沢小に通っている意味がなくなる。大変だが、楽しみもあります。
- 富沢小の教育活動はどれもすばらしく、今後も続けてほしいものばかりです。高齢化で難しい面があるなら、もう少し若い人の積極的な参加をお願いしてはどうかと思います。
- ふるさと家族制度で、学校行事の招待状を届けるのは不在も多く、玄関に出てくるのも大変な方もいる。暑中見舞い・年賀状だけでよいのではないかと？
- ふるさと家族で、交流家庭が2年固定されているが、すべての児童が訪問するように工夫してほしい。
- 富沢小学校の歴史・特色も大切だと思うが、今の保護者でできる範囲が大切だと思う。いつまでも残り続ける学校であってほしい。
- 地域の高齢化により負担が大きくなっているのであれば、(秋の)農業体験はなくして、米作り活動だけでも十分。
- 富沢タイムで体力向上や怪我の防止を目的にストレッチ・ヨガなどを取り入れてはどうか？
- 富沢小では登山がありません。小学生のうちに1度登山をさせてみたいです。(できれば親と一緒に)

地域からの意見

- 富沢小の教育活動は全部賛成です。
- 子どもたちからの年賀状や招待状などいただく度に、大変うれしく思っています。不在の時も多いのですが、申し訳なく思っています。住所が書かれていれば、是非お返事を書きたいのですが…。
- 特認校に指定された時から、英語教育には人気がありました。1度なくなりましたが、英語教育を復活させる要望がありました。
- 昨年度、体育館での富沢祭り、たいへんよかったですと思います。体育館のほうは衛生で安全(蜂)ですし、父母のお手伝いの負担も少ないのでは。子どもへの景品は出さなくてもよいのでは？
- 校長先生をはじめ、先生方の指導には本当に感動させられています。行事がある度に立派だと思っています。感謝でいっぱいです。
- 運動面に関して、(我が家の長女の話では)富沢小の子は多くの種目で他校の子どもより能力が高いと体育の先生からも思われているようです。
- 富沢タイムの一輪車は継続してほしい。
- 田舎にある学校なので、押し込みでなく、仲間と楽しく過ごせる小学校生活をさせてやってほしい。我が子には自然の多い富沢小ならではの楽しい子ども時代を過ごせたことが今も宝物になっているようです。

平成27年度以降における富沢小の新しい教育について(基本方針・案・マニフェスト)

- 新学習指導要領の改定、保護者・地域の強い要望を受け、英語活動や国際理解教育の一層の充実を図る。
・低・中・高学年、それぞれ一定時間を確保し、全学年で英語活動を実施する。(H28年度～)
- 本校教育目標との関連から、「キャリア教育」を教科・領域との関連から積極的に取り組む。(H26年度～)
- 時代背景からのニーズ、児童の実態を考え、「情報教育」に関する知識・技能・リテラシーなどを育成する。
- 教科:道徳としての研修・教育課程の改善を行い、環境・福祉・人権教育との関連を図った指導を充実させる。
(「私たちの道徳」を指導計画に位置づけ、H26年度3学期から本格的活用を図る。)
- 特色ある教育活動について
 - ①ふるさと家族制度・ふれあい集会・農業体験・いこいの家訪問については、改善を要する。
 - ②米づくりに関しては今後の見通しを考え、継続可能かどうか再検討する。
 - ③富沢タイムで、体力テスト結果を踏まえた取組(ストレッチ)を取り入れる。
 - ④富沢っ子祭りは、今年度の要領で継続する。
- 中学校入学への不安を解消するために、他校と連携を図った取組を進める。(H26年度3学期～)